

## 理財部会長報告

**会議名** 第1回理財部会（オープン部会）

**日時** 2023年5月18日（木）  
13:30～15:00

**場所** 秋田商工会議所 ホール80

**出席者** 正副部会長4名、理財部会員9名、  
他部会員12名 計25名

**懇談**

**テーマ** 事業承継の現状とセンターの取り組みについて  
**ゲスト** 秋田県事業承継・引継ぎ支援センター  
統括責任者 河田 匡人 氏

## 懇談内容のポイント①中小企業の事業承継を取り巻く現状と課題

- 全国の経営者の平均引退年齢は、直近で中規模企業で66.7歳、小規模事業者で70.5歳であるが、2025年までに対象年齢となる経営者が245万人となり、内約半数の127万人が後継者未定と答えている。
- 従来は、9割以上の中小企業が親族に事業を引継いできたが、現在では、その割合は4割以下に低下しているため、第三者承継（M&A）も有効な事業承継の選択しとして活用されている。
- 秋田県の現状は、60歳以上の経営者割合は66.7%、経営者の平均年齢は62.3歳と共に全国一の高齢県であり、後継者不在率も69.9%と全国ワースト3位となっている。
- 地域経済にとって、事業承継問題は最も解決しなければならない重要課題となっている。

## 懇談内容のポイント②事業承継の進め方／支援方法

### <事業承継計画策定支援>

- ・事業承継の気付きを与えるため「事業承継診断」等による計画的な準備の働きかけを行うとともに、「事業承継計画」策定支援を通じ事業承継に関する課題解決のサポートをする。

### <第三者承継支援>

- ・相談から成約に至るまで、相談件数81,000件超の豊富な経験から、案件に合わせたアプローチでサポートする。
- ・登録民間M&A仲介業者、金融機関等につなぎ、全国規模のデータベースから、譲渡企業にマッチした譲受企業を紹介しマッチング及び譲渡契約成約まで実施する。

### <M&Aについて>

- ・M&Aのイメージは10年前と比較すると約9割がプラスイメージで抵抗感が薄れつつあり、足元では年間約3～4千件程度実施。
- ・これまでは、経営者の高齢化への対応であったが、今後は生産性向上や創業促進の観点からもM&Aが推進される。

## 懇談内容のポイント②事業承継の進め方／支援方法

### <後継者人材バンクについて>

#### ・ 第三承継（外部招聘、起業家等とのマッチング）への支援業務

◆後継者人材バンク登録状況（2023年3月31日現在）

◎起業・独立希望183名／Aターン151名<平均年齢43歳>

◎外部招聘希望後継者不在事業所107名 <平均年齢68歳>

### <Web上のマッチングサイト>

◎**トランビ**：会社、事業の買い手売り手をつなぐマッチングプラットフォーム。必要に応じたM&A専門家のサポート体制が充実。

◎**バトンズ**：無料（成約時買い手だけ2%）で利用できる、M&A事業承継支援サービスサイト。専門スタッフが成約まで支援。

## 懇談内容のポイント③円滑な事業承継を考えるにあたって

- ◎事業承継は法人でも個人事業主でも必ず直面する経営課題
  - ・社長は一代、企業は末代まで。経営者の最後の重要な仕事。
- ◎事業承継は親族であれ第三者であれ、必ず「相手」が必要
  - ・自身が考える近い形で折り合えそうか自身で想像を巡らせる。
- ◎円滑な事業承継のためには5～10年間の時間を覚悟
  - ・時間、パワー、コスト面など多くの労力を要する。
- ◎若い時期に事業承継問題を真剣に考える
  - ・40代50代の時期に会社の承継方法を思い描き、後継者教育、会社の磨き上げを図る。
- ◎経営者自身も事業もできるだけ良い状態にしておく
  - ・問題のない企業は稀。事業が順調であれば必ず後継者はいるはず。
- ◎考慮に入れるべき要素、優先事項は何か
  - ・自身や家族の生活、従業員的人生、事業の将来、取引先との関係、屋号、経営理念の継承、技術、売却価格など。
- ◎引退時期（経営、所有）を明確にする
  - ・期限を決めて結論を出す。生前に行うことと相続発生時に行うことを分けて考える。経営に関与してなくても家族の理解が必要。